

● IEAのネットゼロ・シナリオ（2023年）における主要な数字

		2022年	2030年	2040年	2050年
世界の人口（百万人）		7,950	8,520	9,161	9,681
世界のGDP（兆ドル）		164	207	270	339
エネルギー価格（取引所価格）					
原油（ドル/バレル）		98 ドル	42 ドル	30 ドル	25 ドル
天然ガス（ドル/百万英国熱量）					
	米国	5.1	2.4	2.4	2.4
	欧州	32.3	4.3	4.2	4.1
	日本	15.9	5.5	5.3	5.3
石炭（ドル/トン）					
	米国	53	27	24	23
	欧州	290	57	45	43
	日本	336	65	51	47
二酸化炭素価格（電力・産業など向け）（ドル/トン）					
	先進国		140	205	250
	新興国・途上国（排出ネットゼロ誓約国）		90	160	200
	新興国・途上国（排出ネットゼロ非誓約国）		25	85	180
	その他の新興国・途上国		15	35	55

出所：IEA（国際エネルギー機関）のデータをもとに筆者作成

同シナリオによれば、原油価格はおよそ25年後、4分の1まで暴落する。

● ネット（正味）ゼロ シナリオ（2023年更新版）の概要

A Global Pathway to Keep the 1.5 °C Goal in Reach 2023 Update

工業化が進んだ産業革命前からの気温上昇を1.5度に抑える目標を維持し続けるための世界的な道筋。9月26日、2023年版の報告書が公開された（2021年版を更新）。



ネット（正味）ゼロ シナリオ 2023

- ・ **電力が世界のエネルギーシステムの「新しい石油」となる。**
- ・ 2050年までにエネルギー部門からのCO2排出ネット（正味）ゼロを達成。
- ・ パリ協定で定められた1.5°Cの制限を限定的に上回ることはある。
- ・ しかし、世界の平均気温の上昇は2100年までに1.5°Cを下回る。

IEA（国際エネルギー機関）

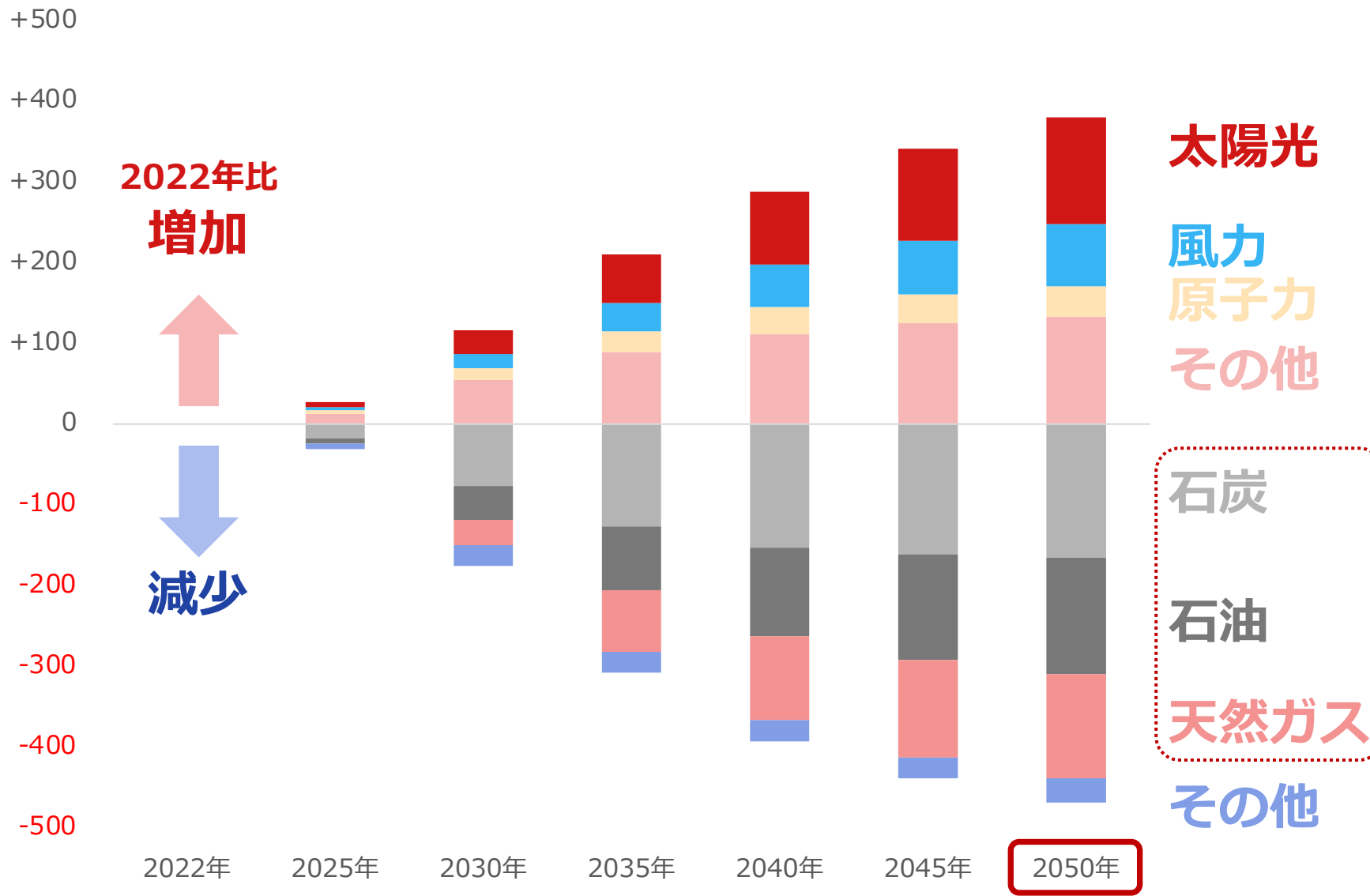
エネルギーのあらゆる問題を調査。31の加盟国（多くのEU諸国+米英日豪等）、13の協力国等において、エネルギーの信頼性、持続可能性を高める政策を提唱。

出所：IEA（国際エネルギー機関）の資料をもとに筆者作成

「IEA」が、CO2排出ネットゼロを達成するシナリオを更新・公表した。

● IEAが示した2050年までのエネルギー供給のロードマップ（2022年比）

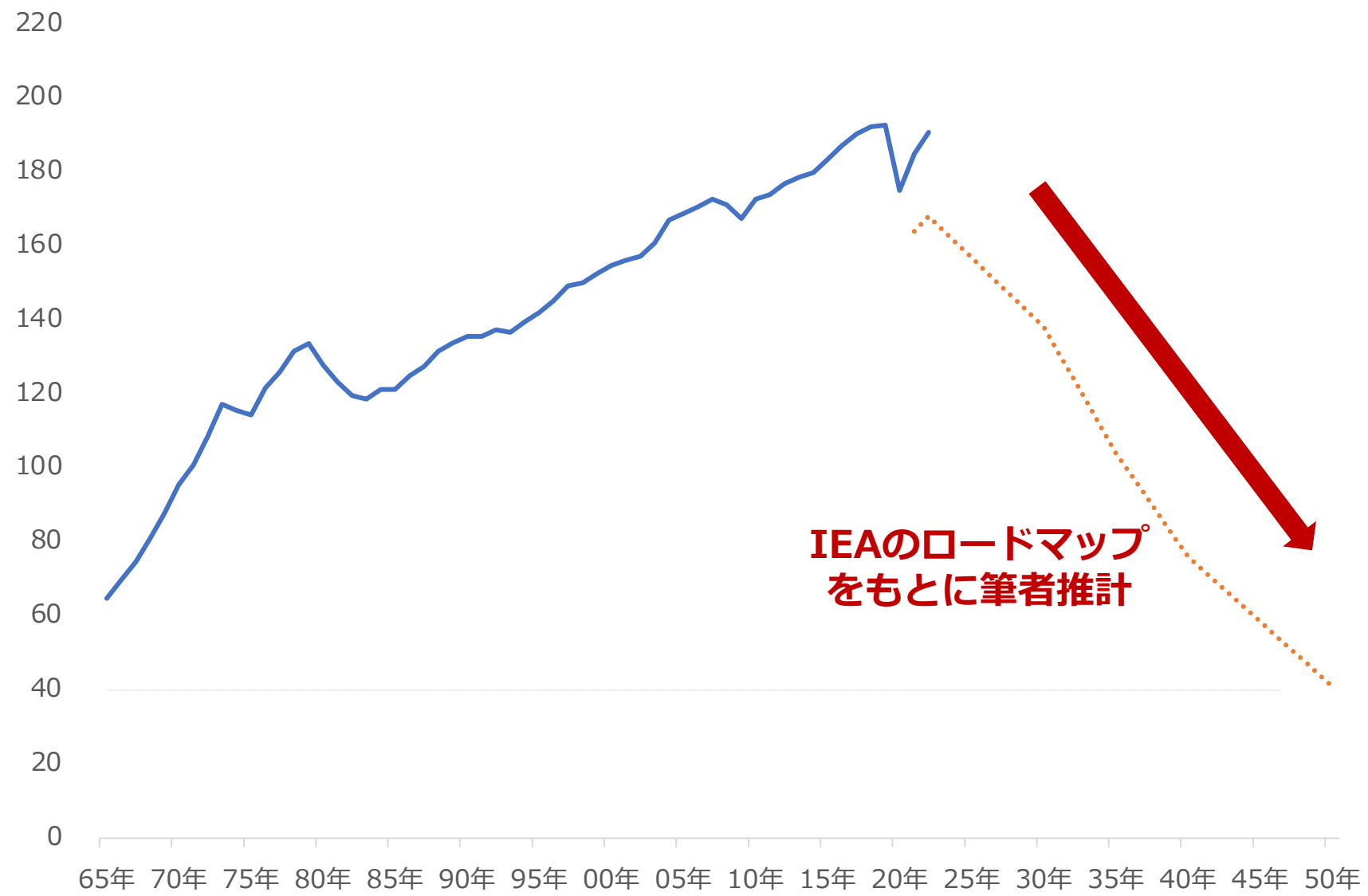
単位：EJ



出所：IEA（国際エネルギー機関）のデータをもとに筆者作成

IEAはロードマップで「太陽光・風力増強、化石燃料削減」を数字で示した。

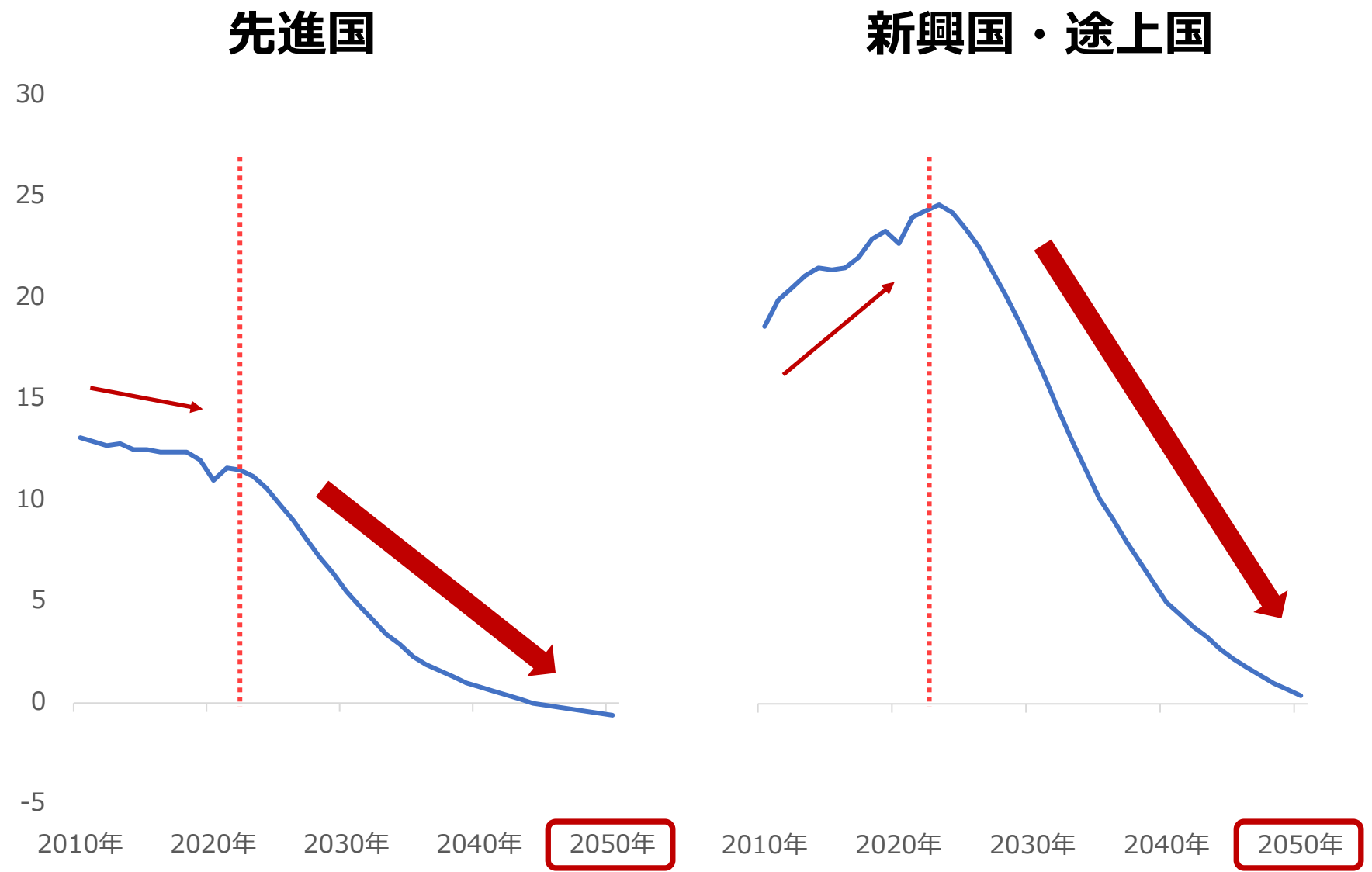
● 世界の石油消費量の実績値（2022年まで）とIEAの見立て 単位：EJ



出所：Energy InstituteおよびIEA（国際エネルギー機関）のデータをもとに筆者作成

2050年の世界の石油消費は、1965年（戦後20年目）を下回ると見立てている。

● IEAが示した2050年までの温室効果ガス排出量 単位：10億トン



出所：IEA（国際エネルギー機関）のデータをもとに筆者作成

新興国は直接的負担、先進国は間接的（金銭面）の負担が大きくなる模様。